

鈴木 えつお

雇用と生活への 支援制度拡充を

問 雇用情勢が厳しく、私
のところにも失業された方
から相談が寄せられた。失業者
への住宅手当支給や総合支援貸
付制度があるが、条件が厳しく
十分利用されていない。①現場
の声を聞いて制度改善を関係機
関に求めてほしい。②市や社協
のホームページで制度を広くわ
かりやすく紹介してほしい。

答 ①必要な制度改善を関係
機関に求めていく。②関
係部署と調整を図り、社協へも
要請していく。

有機栽培や減農薬農 業への支援など農業振興 策の拡充を

問 狛江の農業は新鮮でお
いしい農産物を市民に提供
し、貴重な緑地空間を保全する
役割を担っている。私はこの間
農業者の要望をお聞きした。①
有機肥料の助成拡大②減農薬農
業への支援拡充③援農ボラン
ティアの養成④子ども農業体験
塾の継続⑤農業委員会の活動へ
の支援を求めたいがどうか。



答 ①できるだけ要望に答え
られるよう検討。②農家
の要望を伺い対応。③農家の意
向を踏まえ検討。④新たな制度
ができないか今後検討。⑤さま
ざまな角度から支援しなければ
ならないと考えている。

高齢者の生きがいと 健康づくりへの支援を

問 ①南部地域センターでカ
ラオケをやっている方々
の要望だが、防音が不十分なた
め音が漏れてしまい苦情が来る
ので、防音設備つきの部屋を確
保していただきたいがどうか。

答 ①公共施設再編方針の大
規模改修時期にあわせ検
討。②設置可能な地域、場所の
限定があり、国土交通省との協
議・研究が必要。

宮坂 良子

高齢者が安心して暮ら せるために：特養ホー ムにケアハウスなどを

問 介護保険利用料の軽減を
求めるが①社会福祉法人
の軽減利用者は②周知徹底を③
同居家族がいると生活援助を打
ち切られた人がある。通知の立
場で周知を④特養建設計画に当
たりケアハウスの併設や低額の
料金に⑤介護予防が好評。地域
包括支援センターとの連携を⑥
見守りネットワークの促進を。

答 ①1人。②広報、ホーム
ページ、パンフレット等

で周知する。③居宅介護支援専
門員連絡会等で周知していく。
④介護保険推進市民協議会で議
論していく。⑤さらに連携を
図っていく。⑥見守りのネット
ワークの構築を目指していきたい。

地上デジタル放送につ いて—低所得者に支援 や停止の延期を—

問 国は11年7月アナログ放
送を停止と決めた①地上
デジタルの普及率は②パスス
ルー料金設定の働きかけを③出
前説明会は今後も開いてもらえ
るのか④情報の格差はあつては
ならない。アンテナやデジタル
テレビは高負担になる。全国民
が視聴できるように低所得世帯に
支援や実施延期を国へ要請を。

答 ①東京都全体では平成21
年11月時点で71%の普及
率。②総務省に伺い、その後要
請を検討する。③事業主体は総
務省、新年度も要望に添えてい
くと伺っている。④検討する。

西村 あつ子

子育て支援について

問 ①ヒブワクチンへの助成
の必要性は。②病後児保
育の検討はされたのか。③「育
ちの森」リーフレットの取り組
み状況と配布方法、今後の取り
組みについて。④市民参加で子
育てサイトの開設を。⑤認可保
育園の最低基準は引き下げるべ
きでないと考えるが、市長の考
えは。

えは。

答 ①必要は認識しており助
成は研究する。②先進市
の視察を行っているところ。③
2月に完成。80機関ほどの団体
で配布中。今後発表会等を開催
する。HP等の広報活動を行っ
ていきたい。④重要な役割を担
うと考えている。⑤現行の設置
基準を守ることを基本にとらえ
ている。

藤田 鋭

岩戸北三丁目(仮称) ライオンズ狛江」問題 について

問 ①絶対高さ制限がかかっ
ている地域においてそれ
を下回る高さ制限をかけること
について、まちづくり委員会・
行政側の見解はどういうもので
あったのか。②発足した当該地
域の「地区まちづくり協議会」
での住民側の要望は主にどうい
うものであったか。③それへの
行政側の判断はどうであったか。

答 ①制限をかけることは可
能だが、その規制内容を
提案するに至った背景や根拠、
地区住民の合意形成状況等を総
合的に判断し決定しなければな
らない。②高さを都市計画規制
の25メートルを最高10メートル
とすること。③地区住民の合意
形成が十分にされていない等の
判断から難しい。

田中 智子

狛江の魅力 を広げるために

問 ①「音楽の街—狛江」絵
手紙発祥の地—狛江」の

評価と今後。②市民まじりの文
化祭をエコルマホール中心の
「文化フェスティバル」に。③
音楽・演劇等の練習場所の確保
を。④定期的な絵手紙講習会や
絵手紙材料の販売場所の確保を。
⑤絵手紙・散歩マップにお店案
内も入った観光案内パンフを。

答 ①さまざまな音楽イベン
トの開催などを通じ市民
の認知度は高くなり、定着して
きている。②今後検討。③防音
設備改修が必要となるので、今
後教育委員会と協議・検討。④
関係部署と調整の上検討。⑤商
工会等関係機関・部署と調整の
上検討。



地域コミュニティーの 拡充とネットワークに ついて

問 地域コミュニティー機能
の低下が指摘されている。
①認識と町会等の加入状況。②
課題は。③少なくとも全地域に
設置が必要。設立準備委員会へ
の支援は。④狛江市前期基本計
画の(仮)コミュニティー会議
設立の具体化を。⑤地域で孤立
しやすい方への対応とネット
ワークの拡充を。

答 ①価値観も意識も多様。
地域とのつながりが薄く

加入率が低下②加入率の向上と
設立支援③町会等設立マニユア
ルを作成しアドバイス④小・中
学区を目安に自治会等地域の
方々が参加し話し合う場として
考えている⑤小地域ネットワー
ク及びボランティア活動を推進
しモデル地区の活動を広める。

石川 和広

公共施設再編方針につ いて—庁内での協議・ 検討を経て公定化へ—

問 公共施設再編方針策定庁
内ワーキンググループ設
置要綱では会議・議事の進行に
ついて定められている。単なる
庁内ミーティングではないのだ
から、議事録が公開されていない
のはおかしい。議事の進行及
び内容の痕跡を証明することが、
対外的にできないということに
なるのでは。

答 議事録の作成はしている
が、公表という形はとら
なかった。事務局に依頼すれば
見ることにはできる状態にある。

高齢になっても住み続 けられるまち—狛江の 高齢者施策について—

問 ①電研と共同研究してき
た「独居高齢者見守りシ
ステム」の導入を見合わせた理
由は。②「より多くの方を緩や
かに見守る」から「緊急性を要
する方の見守り」への方向性の
転換になる。2年前、共同研究
と並行し緊急性を要する方に、
今回導入される従来のシステム
を用いる判断はできたものでは
ないか。

答 ①緊急を要する方の見守
りが必要になったため。

亀井 和美

世界一の長寿国であり、 がん大国である日本。 狛江のがん対策は

問 ①健康で長生きするには
病気の早期発見・早期治
療が大事。市の考えは。②がん
の早期発見は検診が一番。検診
受診率向上に対する取り組みの
工夫は。③女性のがん検診無料
クーポン券事業における受診率
の状況と22年度の実施について。

答 ①受診率向上を目指し努
力する。②特定健診に
がん検診の個別通知の同封を検討
したい。③子宮がん10・7%、
乳がん11・5%。市民の健康向
上策として2分の1は一般財源
となったが予算計上した。

自分の健康は自分で守 る。狛江の健康対策は

問 ①健康づくりの情報提供
としての「けんこうガイ
ド」。この存在を知らない市民
がほとんど。市民の健康を守る
ために全戸配布の検討を。②乳
がん検診は2年に1回の受診。
早期発見には自己検診が大事。
自分で行う乳がん自己検診手袋
(プレストケアクラブ)に対す
る考え方は。

答 ①医療機関・公共施設等
に配置するとともに、町
会・自治会を通じて配布してい
きたい。②がんの講演会等の中
で自己検診法の啓発に取り組ん
でいきたい。